

令和3年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和3年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
宮城県	栗原市	文字地区コミュニティ推進協議会	●	○	□	B	引き続き積極的なアプローチを実施し、地域の活性化につなげて頂きたい。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である菅原達也氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

菅原達也(追手門学院大学 地域創造学部 教授)

【意見聴取の概要】

【商品開発について】豊富な地域資源に恵まれてはいるものの、高付加価値化を実践しなければならない。

【耕作放棄地の解消】2年目以降につながる取組がなされている。

【実施体制の構築について】当初は若干苦勞するところもあったが、体制構築は順調である。